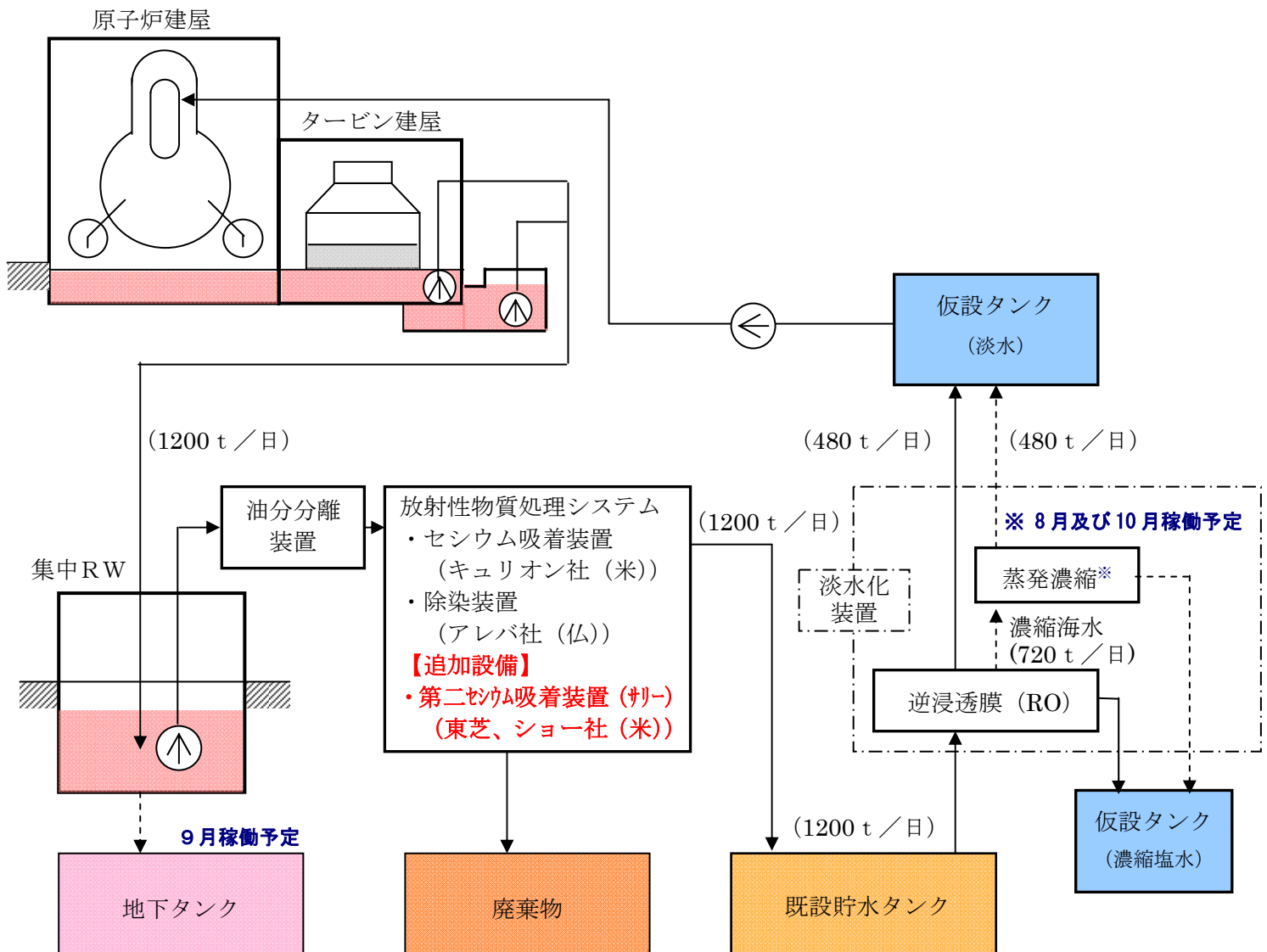


放射性滞留水処理システムの概要(第二セシウム吸着装置の追設)について

タービン建屋等に滞留した放射線レベルの高い滞留水の流出防止を目的として、集中廃棄物処理建屋に移送・貯蔵した滞留水を処理するための設備を設置し、6月17日より処理を開始している。今回、放射性物質処理システムのうち、第二セシウム吸着装置(サリー)を追設した。

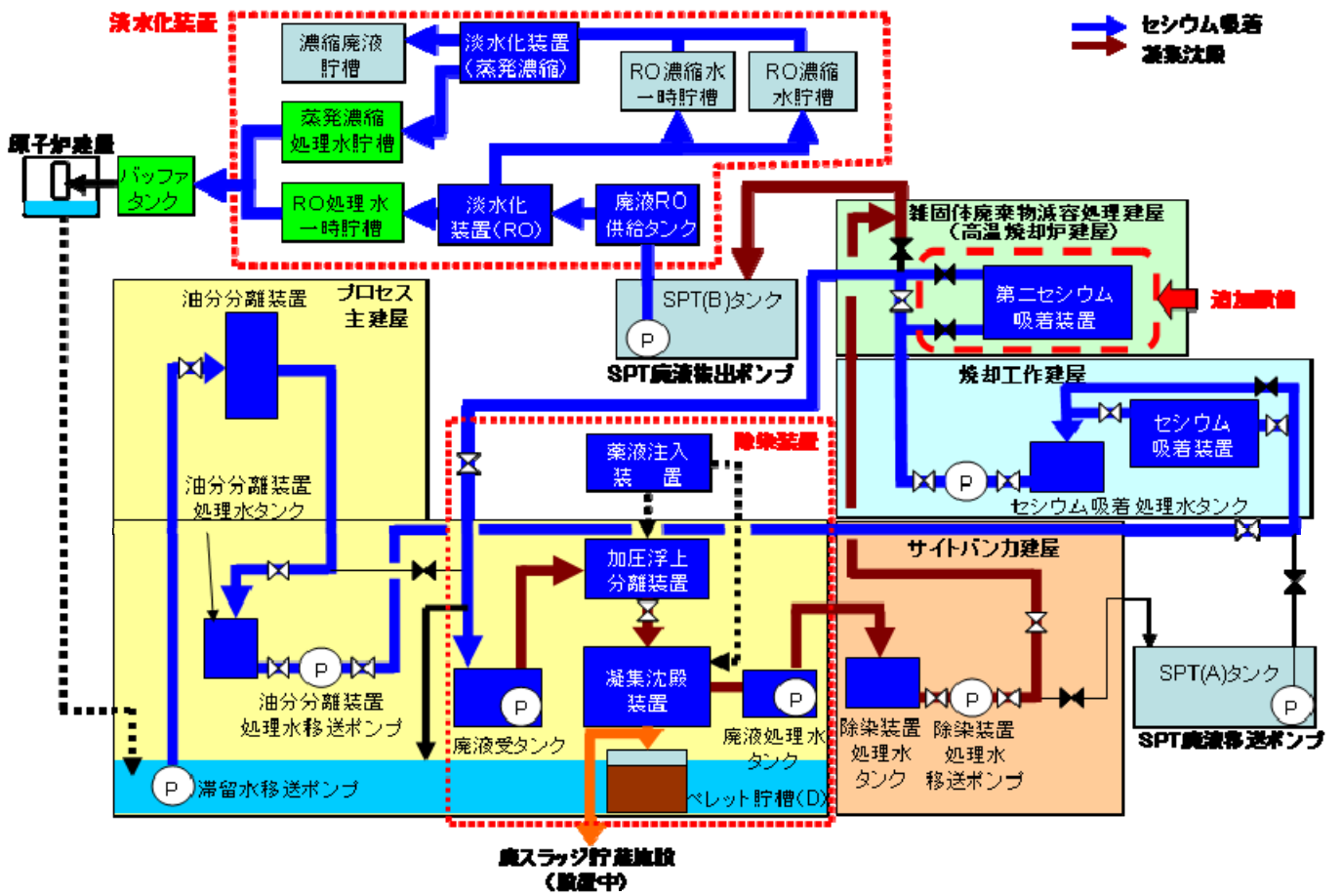
■設備の概要

集中廃棄物処理建屋に移送された水の油分を分離し、放射線レベルの低減と塩分除去を行うため、油分分離装置、放射性物質処理装置、淡水化装置から構成される。

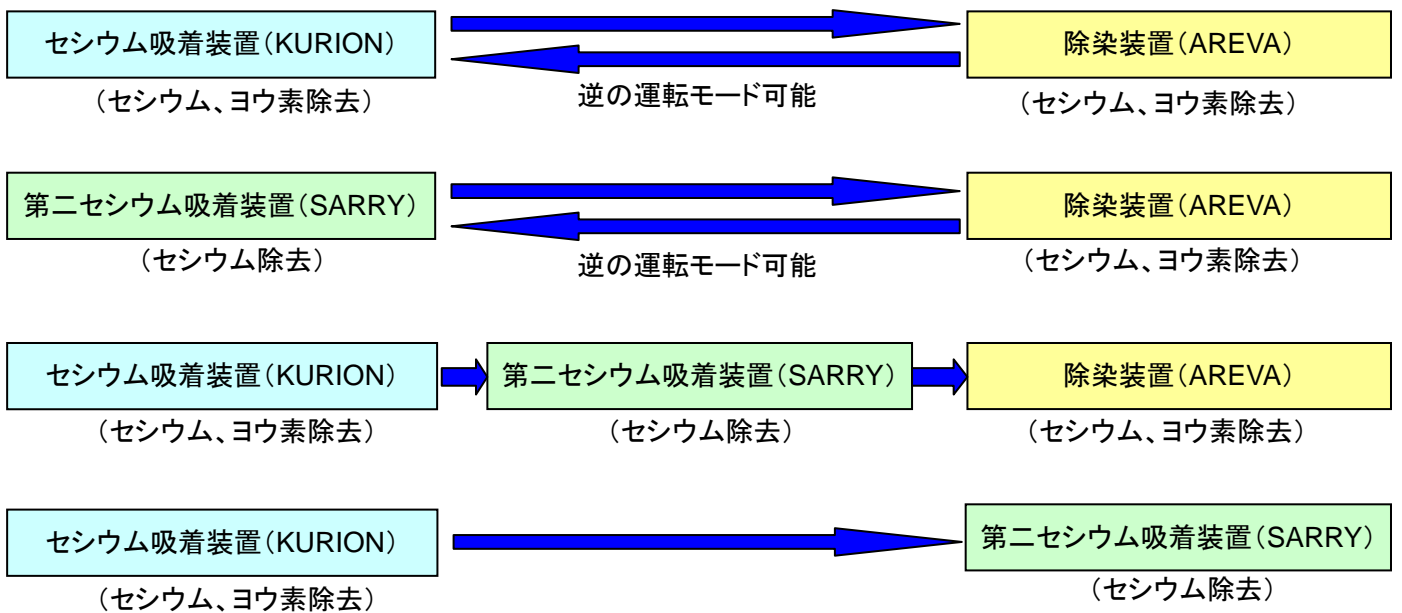


タービン建屋等の水処理施設の構成

1. 系統概要図



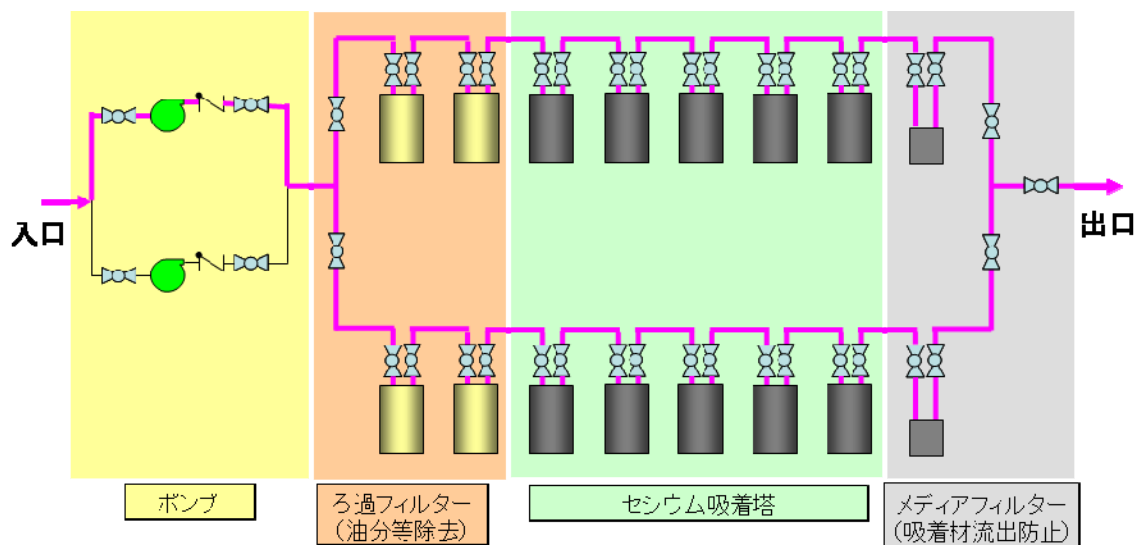
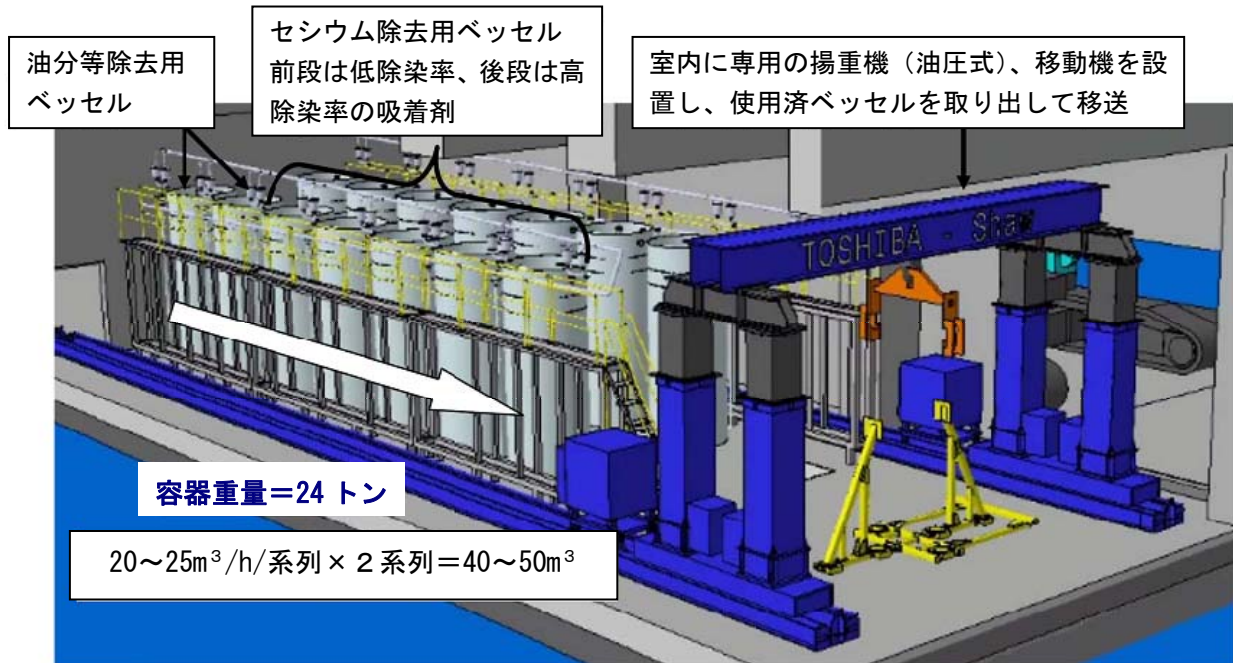
[水処理装置の運転組み合わせ]



注)各装置の単独運転も可能

2. 第二セシウム吸着装置（サリー）の概要

サリーは、従来からあるセシウム吸着装置と同じ、セシウム吸着装置である。吸着塔自体に鉛遮へいを施したことなどにより従来装置のようなスキッドはなく、装置がシンプルに出来ていることが特徴である。



福島第一原子力発電所構内 溜まり水の処理設備および貯蔵設備の設置計画図

